

神奈川県まなびや基金（事業提案型） 事業プラン

学校名・施設名

厚木高等学校

事業プランの内容

整備内容
ピッチング・バッティングの測定機材一式
目 標
① 令和5年までに野球部の神奈川県選手権大会ベスト8 ② パフォーマンスの正確な測定と数値化、記録の蓄積を可能にすることにより、部活動の中で仮説・検証型の取組を行い、生徒自ら課題発見・課題解決していく能力を育成
目標を設定した理由
<p>厚木高等学校は、学力向上進学重点校として進学実績を残しながら、野球部では、過去10年の間で選手権大会ベスト16に3度進出するなど、文武両道を実践しています。また、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）にも指定されており、日頃の授業だけでなく、野球部の活動においても仮説・検証型の取組を行っています。これまでにスライディングのタイム向上をテーマに、光電管式のスプリントタイム計測器を用いた研究活動に取り組み、着実に成果を上げつつあります。</p> <p>令和3年度は、これに加えてピッチングやバッティングのデータを分析するトラッキングシステムを導入することで、選手のパフォーマンスの詳細な数値化が可能になります。能力を向上させるための課題を洗い出し、選手自身が日常的な取組による変化や成長を客観的に評価できるようにすることで、県ベスト8以上に進出できる可能性を大きく高めます。</p> <p>さらに、ボールの回転軸や回転数などの正確な数値の計測は、データサイエンス分野の研究に大いに役立てられ、実際に大学などの研究機関でも導入されています。SSHに県内で初めて2期目（現在8年目）の指定をされた学校として、今まで以上の探究的活動を活発にし、生徒の課題発見・解決能力の向上に繋げていきます。</p>
募 集 金 額
1,600千円
寄 附 募 集 期 間
令和3年8月31日まで